

# 長野市水道ビジョン (改訂版)

世代から世代へ

安心を引き継ぐ長野の水道



みずなちゃん  
(長野市上下水道局  
イメージキャラクター)

平成 26 年 9 月改訂  
長野市上下水道局

# 長野市水道ビジョン

## (改訂版)

世代から世代へ  
安心を引き継ぐ長野の水道

平成 26 年 9 月改訂  
長野市上下水道局

# は じ め に



長野市上下水道事業管理者

高見澤 裕史

長野市の水道事業は、大正4年に旧戸隠村に築造した貯水池を水源として給水を開始して以来、平成27年4月には通水100周年を迎えようとしています。

給水開始当初の給水戸数は2,615戸、給水人口は13,100人でしたが、その後、人口の増加や市域の拡大に伴い、7期にわたる拡張事業を重ねながら、市民の皆様へ安心・安全な水道水を供給してまいりました。

近年になり、人口減少や節水機器の普及、企業の地下水利用への転換など、水道事業を取り巻く社会環境が大きく変化する一方で、老朽管の更新や耐震化など、様々な課題への対応が急務であったことから、平成21年2月に「長野市水道ビジョン」を策定し、計画的かつ効率的に各種施策を進めてまいりました。

しかしながら、策定から5年が経過し、人口減少時代の到来が確定的になったことや東日本大震災を教訓とした基幹施設の耐震化、さらには平成28年度末の上水道事業と簡易水道事業の統合など、新たな課題への対応が求められています。

このような現状を受けて、将来にわたり市民の皆様へ安全で安心な水道水を安定的に供給し、健全な水道事業を持続するため、これらの諸課題にも対応できるよう、現行の「長野市水道ビジョン」の抜本的な改訂を行いました。

今後は、新たな水道ビジョンが基本理念として掲げる「世代から世代へ 安心を引き継ぐ長野の水道」を目指して、三つの基本目標である「安全な水の供給」、「強靱な水道」、「持続可能な事業運営」に基づき、老朽管の計画的な更新とダウンサイジング、施設の統廃合や耐震化、維持管理の効率化など、様々な施策に積極的に取り組み、市民生活や社会経済活動の基盤である水道水の安定供給に努めるとともに、お客さまニーズに対応した質の高いサービスを提供してまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本ビジョンの改訂にご尽力いただいた長野市上下水道事業経営審議会委員の皆様、並びにパブリック・コメントを通して貴重なご意見・ご提案をいただいた市民の皆様から感謝申し上げます。

平成26年9月

# 目 次

第1章 長野市水道ビジョン改訂の趣旨と位置づけ	1
1 改訂の趣旨	2
2 位置づけ	3
第2章 水道の概要	5
1 水道事業概要	6
1-1 水道事業の沿革	6
1-2 長野市上水道事業	10
1-3 長野市簡易水道事業	11
1-4 長野県営水道	14
1-5 水道事業の構成比	14
2 事業経営状況	15
3 水道の普及状況	17
4 機構	18
5 水道施設の状況	19
5-1 主要施設位置図	19
5-2 主要施設	20
5-3 管路施設	21
5-4 その他施設	23
6 取水及び給水状況	24
6-1 取水量	24
6-2 給水量	25
第3章 将来の事業環境	27
1 外部環境	28
1-1 人口減少	28
1-2 施設の効率性低下	29
1-3 水源の特性	30

2	内部環境	31
2-1	施設の老朽化	31
2-2	財源の確保	33
2-3	職員数の減少	35
第4章	施策の実施状況と新たな課題	37
1	安心して飲める水	39
1-1	水道水質の向上 クリプトスポリジウム対策	39
1-2	水道水質の向上 鉛製給水管の解消	40
1-3	水道水源保全の強化	40
2	安定した水の供給	42
2-1	計画的な施設更新	42
2-2	災害に強い水道の整備 耐震化	44
2-3	災害に強い水道の整備 応急給水設備の設置	46
2-4	災害に強い水道の整備 配水管網のブロック化	48
3	健全経営の持続	49
3-1	適正な料金水準による健全な水道経営	49
3-2	お客さまサービスの充実	52
3-3	水道技術の維持・継承	53
4	環境に配慮した水道	55
4-1	環境対策の実施	55
5	適切に管理された水道	56
5-1	適切な維持管理 漏水や管路事故の低減	56
5-2	適切な維持管理 配水池清掃の促進	57
5-3	維持管理の効率化	58
第5章	水道事業の将来像と目標設定	59
1	将来像	60
第6章	推進する実現方策	63
1	基本目標 安全な水の供給	64
1-1	水道水質の向上	64



1-2	水源保全の強化	67
2	基本目標 強靱な水道	68
2-1	効果的・効率的な施設の更新	68
2-2	災害に強い水道の整備	73
2-3	災害時における対応の強化	77
3	基本目標 持続可能な事業運営	78
3-1	適正な料金による健全な水道経営	78
3-2	維持管理の効率化と水道技術の継承	81
3-3	お客さまサービスの充実	84
3-4	環境対策の実施	86
第7章	財政収支の見通し	87
1	財政状況	88
2	財政収支の見通し	89
第8章	検討の進め方とフォローアップ	93
1	検討の手法	94
2	フォローアップ	95
3	公表	96
付属資料		97
1	新旧対照表	98
2	業務指標	100
1)	安心：すべての国民が安心しておいしく飲める水道水の供給	100
2)	安定：いつでもどこでも安定的に生活用水を確保	102
3)	持続：いつまでも安心できる水を安定して供給	105
4)	環境：環境保全への貢献	108
5)	管理：水道システムの適正な実行・業務運営及び維持管理	109
6)	国際：我が国の経験の海外移転による国際貢献	110
3	用語集	111

※本文中で「\*」印を付記した用語の解説です。